

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月13日

計画の名称	京都市における歴史・文化・観光・スポーツのシンボルとなる公園の整備												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	京都市												
計画の目標	歴史的・文化的資源等を活かした、観光・スポーツ振興の拠点となる公園の整備を推進する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	906	A	906	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)	(H31末)	(R3末)
1	大規模公園における利用者の増加 大規模公園(梅小路公園, 円山公園)における施設利用者数	56万人	万人	59万人
2	大規模公園における利用者の増加 大規模公園(東山自然緑地)における施設利用者数	6万人	万人	7万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
○番号2 2-A-4 当初現況値6万人(H31当初) 東山自然緑地については、H31より当該計画で事業を実施しているため、定量的指標の当初現況値はH31当初としている。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	京都市	直接	京都市	-	-	都市公園事業(梅小路公園)	施設整備	京都市						299	-	-
		2 - A - 1																	
	A12-002	公園	一般	京都市	直接	京都市	-	-	都市公園事業(円山公園)	施設整備	京都市						351	-	-
		2 - A - 2																	
	A12-003	公園	一般	京都市	直接	京都市	-	-	都市公園事業(西京極総合運動公園)	施設整備	京都市						113	-	策定済
		2 - A - 3 H30以降は別計画へ移行																	
	A12-004	公園	一般	京都市	直接	京都市	-	-	都市公園事業(東山自然緑地)	施設整備	京都市						143	-	-
		2 - A - 4 H31から本計画																	
												小計					906		
												合計					906		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 本市において評価を実施	事後評価の実施時期 令和4年度
	公表の方法 本市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標は達成できなかったが、公園施設の再整備が完了し、各公園の魅力は向上していることから、事業効果は発現している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後は、施設利用者数が回復してきており、特に目標値との乖離が大きかった円山公園の令和5年6月以降の施設利用者数は、令和4年度の利用者数に比べ、2倍程度増加している。 引き続き、施設利用者数の推移を注視していく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	施設利用者数		
	最終目標値	59万人	円山公園は、市内随一の行楽地で観光客も多く利用するため、新型コロナウイルス感染症の影響による旅行者の減少や花見等の自粛等が要因であると考えられる。
	最終実績値	25万人	
2	施設利用者数		
	最終目標値	7万人	新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等が要因であると考えられる。
	最終実績値	5万人	